

資料 3: IOAC WHA74 報告書(A74/16)の勧告

注) 資料は WHO 事務局文書 A74/16 基に研究班が作成した。

公式な内容は https://apps.who.int/gb/ebwha/pdf_files/WHA74/A74_16-en.pdf を参照

WHO の COVID-19 パンデミックへの対応

1. ワクチンへの公平・公正なアクセスへ向けた ACT-A 展開への世界戦略の策定支援。
2. COVAX dose の分配へのサプライチェーンに関する課題への取り組み。
3. 変異株を考慮したサーベイランス・検査等の公衆衛生学的措置の支援。
4. WHE が、既存システムを活用し、変異株の管理のために動物セクター等と連携。
5. WHO 国事務所が、国連の中で公衆衛生学的対応をリードするために強化。
6. Incident Management Support Team(IMST)の構成やビジョンの検証。
7. 本部の WHE の人材配置を含めた、コアとなる技術的専門性の強化。
8. Publication Review Process が引き続き新たな課題等へのガイドライン策定を優先。
9. 誤情報や Social Media の攻撃へ積極的な対応を行う能力を強化。
10. 次のパンデミックへ向けて渡航制限や水際対策のインパクトを検証。
11. 加盟国が、WHO が IHR 検証員会の勧告に従った役割の遂行のためエンパワーされることを保証する。

アウトブレイクやその他の健康危機対応を主導する WHE プログラム

1. Global Policy Group はすでに同意した管理・説明責任・プロセスを実施し、Emergency Response Framework(ERF)の改定版を承認。
2. コミュニケーション・調達部門・セキュリティ部門は WHE と部門長への 2 重報告ラインを形式化。
3. 性的搾取・虐待の対応・予防のための内部告発や警告メカニズムを強化。
4. 緊急出動に関連したリスクの予防・管理の既存のツールなどを組織間で検証。

WHO 健康危機管理

1. 健康危機時のセキュリティサービスを担う部局を設立。
2. 上記部局における人材の確保や緊急出動に必要な予算への投資。
3. 上記部局に、WHE 局長と兼任の D1 レベルの ADG を雇用する。
4. 緊急チームが上記部局に設置され、WHE と本部ラインへ 2 重に報告する。
5. WHE と上記部局が共同で、WHO の各レベルで緊急出動を支援のために必要なキャパシティ等を決定する。
6. 健康危機管理が、Emergency Response Framework へ統合される。

世界的パンデミックに対応する人的資源

1. COVID-19 と同様のパンデミックへ対応できる組織横断的能力を活用。
2. WHE の社会学やジェンダーを含めた技術的能力を強化。
3. WHE の国レベルのモデルが地域の人材計画や国の要件に沿って改定。
4. 脆弱な国の事務所に優先付けをし、国の状況に合わせて、国レベルでの雇用を促進。
5. 緊急事態で働くスタッフへのインセンティブや特別な考慮を与えるべき。

WHE への資金

1. 分担金の増加や紐づけない拠出金による WHE への資金の予測可能性や持続性の改善。
2. WHO から WHE へ割り当てる core flexible funding の増加。
3. 国際社会の健康危機へ投資。
4. CFE 増資のメカニズム、出資基準、運用プロセスの再考。
5. WHO の健康危機と UHC への人道的・開発資金の確保。
6. GPW13 の健康危機の one billion ターゲットの遂行と加盟国の期待を整合させるためさらなる議論を行う。